

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉                      ○数学科では、グラフ、資料の読み取り、規則性に関する問題で全国平均よりも高い正答率となっている。                      ○数学科では、基本的な計算技能は十分身につけている。                      ○国語科では、漢字の読み書き、文章を書く、など、既知の知識を生かした学習活動に強みがある。                      ○英語科では、おおむね良いが、特に、読むことについてはよくできている。                      〈課題〉                      ▲数学科では、「説明する」問題や、数学的な知識を問う問題に課題が見られた。                      ▲国語科では、「読む力」「聞き取る力」など、情報をとらえ整理する能力に課題が見られた。                      ▲英語科では、「聞くこと」がやや苦手である。                      ▲全体的に、無回答率が高く、回答した場合の正答率が高い。自信のない問題に解答しづらい生徒が多い。</p>	<p>〈成果〉                      ○規則を守ること、交通マナーを守ることができる生徒の割合が非常に高い。                      ○学習規律を守って授業を受けることができている。                      ○予習・復習や、平日・休日の家庭学習に取り組んでいる生徒の割合が高い。                      ○一日当たりの読書の時間が全国平均より高い。                      ○学年をおうごとに、意欲的に話し合い活動に取り組む生徒が増えている。                      ○タブレットの活用が定着している。                      ○スマホのルールが決められている家庭が多い。                      ○目標をもって授業に取り組み、振り返る活動ができている。                      〈課題〉                      ▲自己肯定感が低く、自分に自信をもちにくい生徒が多い。                      ▲自分に自信がもてず、将来の夢や目標をもちづらい生徒が少なからずいる。                      ▲タブレットの活用は定着しているが、学力向上につなげる工夫が必要である。</p>



改 善 策	
<b>学 校 で の 取 組</b>	
<p>○タブレットの活用                      ・生徒の学力や学習意欲を高められるような、タブレットの効果的な活用を目指す。                      ・タブレットの利用が学力向上につながるような取り組みを行う。                      ○家庭学習の充実                      ・基礎学力の定着と向上のために、ドリル学習などの課題に徹底して取り組む。                      ・生徒の主体的な探究活動となるよう、教科横断的な学習につながる自主学習の推進を図る。                      ○肯定的に他者ととらえる取り組み                      ・「ほめ言葉のシャワー」の取り組みを充実させ、良好な人間関係を構築させる。                      ・自己肯定感の高まる、短学活・学級活動を実践する。                      ○振り返り                      ・授業内容を振り返るシートなどを活用し、授業で学んだことを活かして、学習を適切な言葉で振り返れるようにさせる。                      ○体験的な取り組み                      ・体験学習など、実感を伴った学習を意図的に計画する。</p>	
<b>中 学 校 区 で の 取 組</b>	
<p>○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」、「宿題忘れゼロウィーク」）を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。                      ○生活習慣強化週間「早ね！早おき！朝ごはん！金光 学力アップ大作戦チェック表」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。                      ○中学校区「金光地区学校運営協議会」の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。</p>	
<b>家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い</b>	
<p>・携帯やスマホ、タブレットなどの使い方、およびゲームの時間について家庭でのルールを決めておきましょう。                      ・テスト週間に取り組んでいる「学習計画表」や、長期休業中の生活ノートへのコメントや言葉かけをお願いします。                      ・子供たちと、将来のことについて家族の方の経験をもとに話しあう時間を確保してください。                      ・意識的に学校での出来事を話題にしてください。                      ・「子供は地域で育つ」の理論のもと、あたたかい見守り(あいさつ、声掛け、地域での役割分担)を地域の方にもお願いします。</p>	